



第38回福岡歯科大学臨床セミナー

宮園 祥爾(37期生)

福岡歯科大学同窓会主催 第38回福岡歯科大学臨床セミナーは、今年度はハンズオン形式にて福岡歯科大学4階実習室で開催することになりました。テーマは「歯内療法に自信をもって取り組むために実践!! 歯内療法的アプローチをご紹介いただきました。全顎的な歯科治療において、一本の根管治療のエラーが治療計画全体に影響を及ぼすことさえあるため、正確な判断力と手技を身につけ、根管治療の成功率を1%でも上げたいという上田先生の歯科治療に対する熱意をご教授いただきました。コロナ禍においても学びの場を還元することを模索し、今年度は感染対策を徹底した中、ハンズオン形式で開催し、多くの先生方に参加していただきました。また今年度は臨床スキルアップセミナーも開催しますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただければと思います。



福岡歯科大学同窓会 第58回定時評議員会 及び第44回定時総会

福岡歯科大学同窓会副会長
小柳 進祐(12期生)

令和4年6月11日(土)に、福岡国際会議場4階中会議室において、3年ぶりに令和3年度福岡歯科大学同窓会第58回定時評議員会及び第44回定時総会が開催されました。前々年度、前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、書面表決という形で評議員会を開催し、福岡歯科大学同窓会誌「背振」の誌面にて会員の皆様には報告という形を取らせていただきました。現在も新型コロナウイルス感染症の影響下にはございますが、感染対策に十分に留意し、対面での会議が再開できましたことは喜ばしい限りです。しかし、残念ながら感染対策上、特別講演会及び懇親会の開催は断念させていただきました。

本年は、福岡歯科大学は創立50周年を迎え、福岡歯科大学にとって大きな節目の年となっております。福岡歯科大学同窓会は、福岡歯科大学とともに次なる50年に向けて更なる発展を目指していかねばならないと思っております。そのためにも、大学と密接に連携を取りつつ、共に歩んでいかなければならないと思っております。

クリニックからこんにちは!



スタッフと共に13年

増田 崇信(25期生)

25期卒業の増田崇信です。卒業後は福岡大学病院にて2年間研修を受け、中村司・比路枝歯科にて4年間勤務させていただきました。

この研修・勤務医時代に外来と、病棟のベッドサイドでのケアや居宅・施設等での治療を行っていたため、歯科に通えなくて困っている患者さんと多く出会い、様々な体験をさせていただきました。開業当初からありがたいことに同じ志を持ったDH、Dr、そして院内を任せることができる優秀なスタッフに恵まれ、開業して13年目の今現在も僕自身精力的に訪問歯科に力を入れることができています。訪問先の患者さんにはいつ急変してもおかしくない方が多いため、依頼があればその日の内に対応できるようにDH同士、Dr同士で連絡を取り合い、時間をやりくりして協力しています。

点滴だけで栄養を摂っていた末期癌の患者さんに咬める部位を作り、亡くなる前日に家族と同じ食事を楽んでもらえたことが僕の原点であり、全ての患者さんに口から食事のできる喜びを与えたいというのがスタッフ皆の目標です。



卒業生
NOW

御縁の有難さ

山本 未陶(23期生)

皆様こんにちは。23期卒の山本未陶です。私は公衆衛生学に興味があり、卒業後、予防歯科学講座(現口腔保健学講座、旧口腔衛生学)にて博士号を取得、その後も同講座にて約10年間、口腔保健学の教育・研究に携わりました。当時、登院実習生を福岡市西区保健センターの乳幼児歯科健診に引率していたことが懐かしいです。今でも講義や実習で関わった後輩たちが覚えてくれていることがあり、嬉しい限りです。研究は健康教育、特に学校歯科保健が中心で同窓の先生方には大変お世話になりました。その後、大学在職時から非常勤講師をしていた福岡県歯科医師会立福岡歯科衛生専門学校の専任教員となり、現在に至ります。ここでも福岡学園の先生方や同窓の皆様を支えていただき、御縁の有難さを実感する日々です。

さて、福岡歯科衛生専門学校は令和3年度より文部科学省委託「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」に取り組んでおります。これは専門学校での教育力を上げつつ、高等学校や行政、関係機関・団体等と連携して地方再生に寄与する事業で、本校は就業歯科衛生士数の増加をテーマとしています。令和9年度まで継続の予定であり、皆様にもお世話になることがあるかと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

